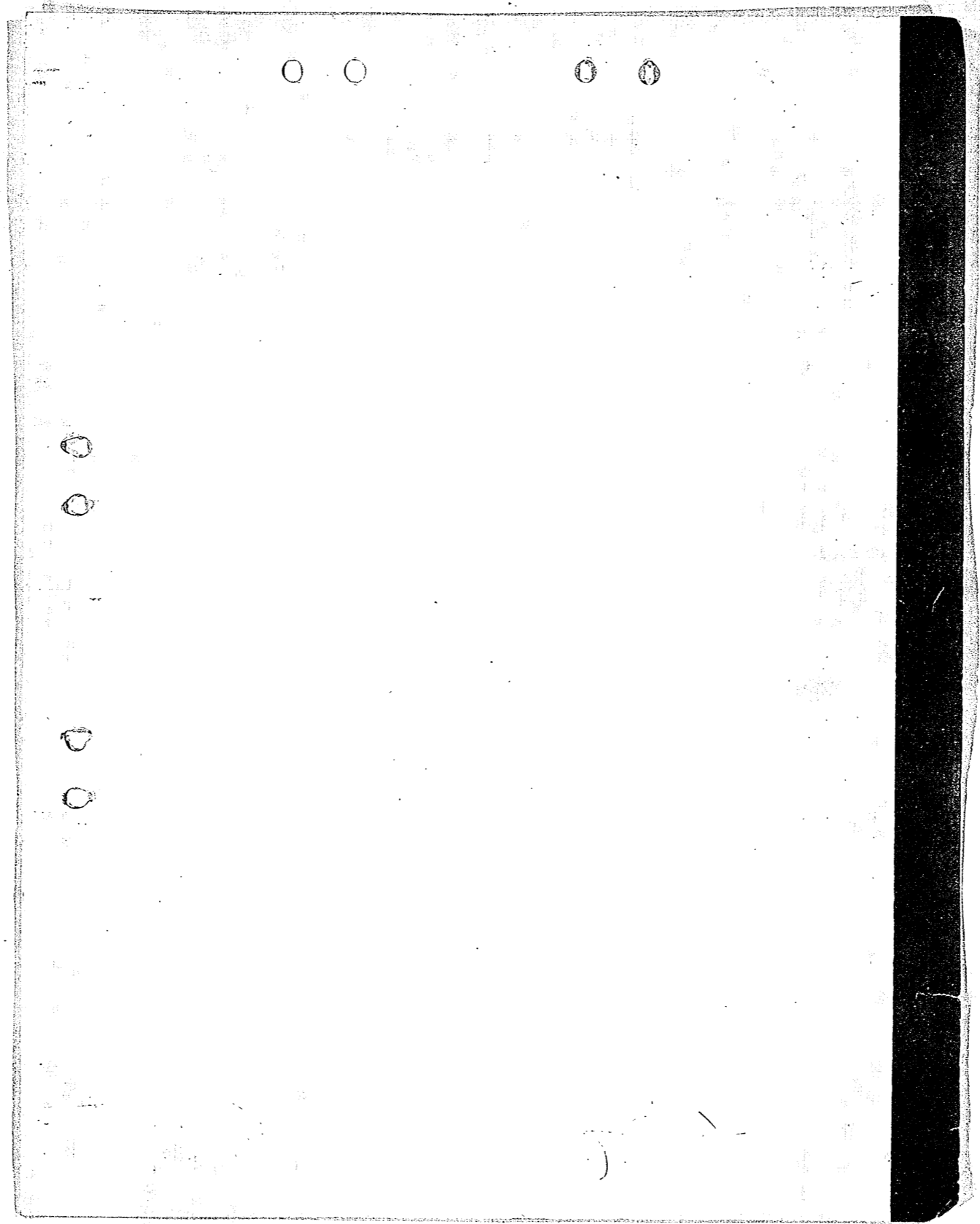


琉球大学学術リポジトリ

日米関係（沖縄返還）19

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43794

他
公
館
來
信
電



ソカヒ 万機

特

注意

特秘扱

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

大政事外外官
事務
次次 房
臣官官審審長
務文文會會給

総番号(TA) 15712 主管
69年 4月 15日 14時 50分 韓国 着
69年 4月 15日 15時 05分 本省 着 米北

外務大臣殿 金山(大使) 臨時代理大使 総領事 代理

オキナワ問題(報道振り)

第390号 平 特秘扱 至急

往電第379号に関し

15日付朝鮮日報は1面に「オキナワ返かんに極東安保が考慮されねばならぬ」、「政府、米。日に覚書」という見出しの下に、14日政府高位消息く通が明らかにしたところとして、サイ外務部長官は先週ポーター米大使及び本使をそれぞれ招致し、オキナワの日本返かん問題に関する韓国政府の立場を表明した「覚書」を伝達した旨大きく報じている。同記事は前記消息く通を引用しつつ、覚書の内容を可なり詳しく伝えている。なお同日付その他の朝刊には該当記事は見当たらない。

(3)

入電厚計
参調析
参領旅移

北米経
中
参一ニ
参西東洋
西東

参参近ア
次総経国万

参参統三
参政按二
国一理

参参協規
参政経科

参参社専
参道内外

一一

外務省

極秘

特

特秘扱

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

大政事外外官
事務
次次 房
臣官官審審長
務文文會會給

総番号(TA) 18151 主管
69年 4月 29日 20時 10分 ニュヨーク 着
69年 4月 30日 10時 06分 本省 着 米北

外務大臣殿 奈良(大使) 臨時代理大使 総領事 代理

ニクソン-ライシヤウア等会談(その1。オキナワ)

第397号 極秘

24日ニクソン大統領はホワイト・ハウスに REISCHAUER、

のアジア専門五学者を招致した。本官はそのうち1人

に29日面会し事情をちよう取したところ次の通り。

なお、同教授は会談の内容をちく一申し上げる訳には行かない。と言いながらも以下の様に語った。

1。会談は1時間であつたがその内容は3月21日ライシヤワー、が貴館公ていで発言したと大体同じと思つてよい。

自分がニクソンから受ける印象はニクソンが相変わらずアジアに非常な重要性を置いていっていると言ふこと。会談は日本、オキナワ及び支那問題に終始した。不思議に思ふかもしれないが、北鮮飛行機墜つたの問題は全然論議されなかつた。ソ連のことも余り触れられなかつた。日米経

参調析
参領旅移

北米経
中
参一ニ
参西東洋
西東

参参近ア
次総経国万

参参統三
参政按二
国一理

参参協規
参政経科

参参社専
参道内外

一一

外務省

極秘

特

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

極秘

済関係についても一切触れなかつた。自分は輸入規制だとかその他の経済の競争問題よりも安保条約問題の方が日米にとつてはるかに重要であると思う。

2. 本席上良く判つたことはニクソン初め米政府当局はオキナワ問題について態度をはつきり固めてないことである。これは恐らく日本政府がまだはつきり決めていないことにも依ると思う。

本土なみ返かんを日本側において促進させる方法が2つある。第1には国務省及び国防省共に存在する日本は当然の責任を果してないと言う論者をアビーズしなければいけない。その為自分は日本が憲法を改正せよとは言わないが少なくとも朝鮮に万一のことがあればその防衛に共同責任を持つと言うことを表明する必要がある。

憲法改正しなくても、米國が日本及び返かん後のオキナワから朝鮮防衛の為に出撃することに予め包括的同意を与える様な方法がある。その様な出撃に対して日本政府が承だくを与えるか否か判らない様な状態では困る。

韓國の防衛が即日本の利益にもなるのだと言うことを日本政府は国民にF及する必要がある。今のところ日本政府は何もそう言う措置を執っていない。

第2に必要なことは日本政府がアジアにおける経済援助を

(2)

特

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

極秘

出来るだけ負担することである。今でも十分日本がそれを
 果していることは自分は知っている。然しながらより多く
 の部分を分担すると言うことを表明してもらいたい。
 以上2点を出来るだけ早い機会に米國に知らせれば本土な
 り返かんは余程やすくなる。

(以上同氏はしきりと返かんはMAIN LAND B A
 S T Sの時ばかりかと言っていたから。本官より。その
 形態が議論の前提となつていたかど聞いたらニヤ、トわら
 づて見せた。

米に転電した。国連。シカゴに転報ありたい。

本電を見込みにより英に転電ありたい。

(5)

外務省

大蔵省外務官
 事務 房
 次次
 臣官官務審長
 備書文会管給
 総人厚計
 参調析
 参領旅移
 参北東経
 参中西経
 参北北経
 参一
 参西東洋
 参西東
 参近ア
 参編編国万
 参編編国
 参政技一
 参一揮
 参条協規
 参政経科
 参社専
 参道内外

特

- 注意
1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

極秘

総番号(TA) 17629
 69年4月25日20時50分 ニューヨーク 主管 米局長
 69年4月26日11時56分 本省 着

外務大臣殿 奈良 大使 臨時代理大使 総領事 代理

オキナワ問題

第389号 特秘

往電第388号に關し、

25日本官と [redacted] との会見次の通り。

なお本件は極めて機微な点があると思われるので絶対取扱いには御注意願いたい。

1. [redacted] より、自分は数年前よりキン元総理及びサトウ総理とじつこんの関係にある。2回にわたり自分は=クソンを日本に連れて行って右岡氏に会わせている。従つて=クソンは岡氏と極めてじつこんであり、その外2、3回訪日しているので、日本の問題については極めて良くしよあくしている。

今年の1月だつたか右岡氏派遣された人が自分の所へ来た。その人の名前は申し上げられない。その時も自分は言つたのであるが、日本は米国には要求するばかりで、米国の言うことを一切聞こうとしない。これには大統領も自分も全くうんざりしているのであり、日本が貿易及び資本の自

外務省

特

- 注意
1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

極秘

由化をはからない限り、オキナワ問題について日本の申入れは聞けないとはつきりその人に言つておいた。

2. 本官は右に対し、それは極めて大事な意見をうかがつたが、領土問題をかくのごとき通商問題とひつかけるとは、日本に与える影響は極めてSERIOUSなものがある。万一それが米国の態度であるとして日本の新聞に出ることがあれば大変な反米感情をそそることとなる。われわれ政府官憲にそういうことを言われるのは良いが、今度の南部使節団にももちさらされるのはおやめ願いたいと述べた。 [redacted] はこれに対し、もち論自分は使節団にそういう話をする意図はない。また自分が6月訪日する際にも言及しない。オキナワは政治問題であり、自分の論ずる限りのものではない。しかしながら、大統領も自分もこの通商問題がはつきり満足すべき解答を日本側から得ない限り、オキナワに関する解答は与えないつもりであると述べた。

よつて本官より更にIREBUDENITISMをそのような通商問題とパーゲンするのは日米そう方のために絶対得策ではない。また混同されるべき問題ではないと述べた。

[redacted] はこれに対し、國務省が=クソンに別途独自の意見を出しているかも知れない。従つて=クソンは自分の意見だけでなく國務省の意見も考慮するだろうが、少

外務省

特

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

くともニクソンと自分との間の了解では、日本の貿易、資本の自由化なしではオキナワ問題は取上げないと意見が一致している。と述べた。

3. これに対し本官よりくり返し以上のような意見が外にもれると大変であるところを告げておき、
 がサトウ総理やキム元総理に述べられるのはよいが、その他の民間人にはもらさぬようお願いしたいと再びくぎをさした。同氏はそれは十分了承したと述べていた。
 米に転電した。

(了)

外務省

極秘

万博

注意 (内用)

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

総番号 (TA) 22243 主管
 69年5月24日 13時29分 ナハ 発着
 69年5月24日 19時29分 本省 発着
 外務大臣殿 岸 沖縄事務所長

「外相訪米反対」に関する喜屋武会長の帰還

ヲ219号 本(秘扱) 至急
 総務長官へヲ219号
 往電ヲ215号に關し。

24日付「沖縄タイムズ」は一面トップに復帰協が「外相訪米に反対、安保体制を紛争」
 エタレの態度を決定した旨報じているが本官は24日午後復帰協の喜屋武会長を強訪してその真意を確認した(材より同席)。その状況以下の通り。

1. 喜屋武より「我々は沖縄県民の意思を十分に帯していない訪米には反対するとの方針を決めたばかりであり、外相の訪米自体

添付あり

大蔵省
 外務省
 防衛省
 文部省
 厚生省
 農林省
 建設省
 通商産業省
 郵政省
 自治省
 警察庁
 国土庁
 気象庁
 宇宙庁
 皇室庁
 内閣府
 国会
 最高裁判所
 裁判所
 検察庁
 地方自治体
 関係機関

近畿
 北陸
 関東
 中部
 近畿
 北陸
 関東
 中部
 近畿
 北陸
 関東
 中部

近畿
 北陸
 関東
 中部
 近畿
 北陸
 関東
 中部
 近畿
 北陸
 関東
 中部

外務省

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

秘

に反対するのではない。復帰協の内部には訪米阻止を主張する向きもあったが、私はそれを押えた上での説明があった。

ロ、喜屋武より「外相の訪米による本土政府の交渉方針について復帰協の一部には、「核つき船使用」を本土政府が企図しているとの決めつけられている向きもある。それはこれまで本土政府筋から主張された核つき論に対する不信の念があること、近時沖縄ではこれに及ぶの整着以来、県民の生命が基地の存在によって脅かされていること、最近韓国や台湾の主張によって沖縄基地の役割を固定化しようとの意図が伺える等の理由による」との説明があった。

ハ、本官より「現地にかける対応としては、いくら強硬なものであってもよいが、それは外相の訪米をバックアップする方向でなければならぬ。しかも対米交渉に臨む日本

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

秘

政府の方針は決して固定したものでなく、現地の要求も汲み上げたものを用いている。もし申しあげたところ喜屋武は「外相訪米を取り止めよ」といった主張になれば、それは復帰を願う県民の心情に矛盾するところを認識しているので、28日の県民大会の名称や決議文の内容についても充分配慮するようになっている。そのために27日の会議で早急な結論を出すことなく、本28日改めて慎重な討論を行なうよう手順を定めた次第である。また当日の大衆行動についても無用のトラブルの発生しないよう統制をとる上を語り、全体として本土政府の外交方針を内心は了解しつつも大衆運動としては最大限の主張をぶつけて行こうとする構えであることを示唆していた。

(3)

総理事務所連絡

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

主管

米北1

「外相訪米反対」に關する喜屋武会長内話(訂正報)

電信課
44.5.26.

平(秘認)

24日付ナハ米電219号(TA22243)
本文甲誤りを下記の通り訂正ありたい。

部

1ページ3行目 安保体制を粉砕

8行目 充分に体してはいない

2ページ3行目及び7行目 向き

3ページ3行目 申し述べたところ

3)

カセ 万

大政政外務

事務 課

次長 課

主任 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

カセ 万

大政政外務

事務 課

次長 課

主任 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

課長 課

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

主管

米北1

総番号(TA) 24249

69年6月6日15時15分 ナハ

69年6月6日17時09分 本省

外務大臣殿

岸 沖繩事務所長

外相の沖繩返還交渉に対する屋良主席の談話(連)

案246号 平 至急

(総務長官へ 案246号)

屋良主席は本6日外相の内外記者会見
(NHK放送)に対する談話を要旨以下のと
おり発表した(資料送付)。

1. 「施政権返還」も第一義の課題とし、
誠意をもって返還交渉へ臨まれた外相の御
努力に敬意を表したい。

2. 今回は第一回の会談ゆえ結論が出るも
のとは予想していなかったので会議の結果
は予想の域を越えていないが、ただ返還間

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

問題は日本側からすれば当然の形になっているのは不満である。返還を一日も早く主張する沖縄県民の要求や心情に照し会談は迫力に欠け、物足りなさを覚える。

3. 会談のまとめとしては、

- (イ) 外相は日本側の言い分を伝えた。
- (ロ) 11月の総理訪米の際沖縄問題を解決するという日米双方の意思の一致をみた。
- (ハ) 難しい問題をかかえた中で、米国の立場に引っぱり出したが、これからの交渉が問題であり、しかも交渉の内容は樂觀を許さない。
- (ニ) 返還の際の安保適用で事前協議の運用が問題になっている。
- (ホ) 米國は沖縄問題について特に経済問題とアジアの防衛問題とからませてきている。
- (ヘ) 核問題については結論が出なかった。

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

等であると受取っている。

4. 11月の佐藤・ニクソン会談で沖縄問題の決着のつくことが明らかとなったが、問題はその内容である。特に米國が沖縄返還問題を経済問題とアジアの防衛問題にからませようとしていることに注目しているが、これは沖縄を引き続き犠牲に借する危険をはらんでいる。沖縄県民の要求である「即時無条件全面返還」が叶えられるかどうか樂觀を許さないものがあり、会談内容は沖縄県民の主張とはほど遠いものであると云わざるを得ない。われわれは引き続き日米両政府に強く要求し今後の交渉を見まもってみたい。

(丁)

(主査課へ連絡局 主査課)

1800

大臣秘書官

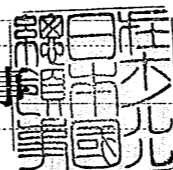
アメリカ局長
参事官
北米第一課長

第340號

昭和44年6月16日

外務大臣殿

在ホノルル
吉岡總領事



処理
事務官
南方
海外調査
漁業
航空
科学協力
連絡調整
調査
カナダ
局庶務



外務大臣の当地通過に関する記事送付

往電第99号に關し

貴大臣の当地通過に關する6月7日付当地

知紙 (Honolulu Star-Bulletin, 布哇夕報)

及び布哇報知の報道振り印を添付

に別添のとおり送付申しあげます。

付属添付

Nixon's Insight Into Japan Wins Praise From Aichi

Also See Page B-1

President Nixon knows more about Japan than any previous President, Japanese Foreign Minister Kichii Aichi said here yesterday.

Aichi made a brief stop-over here en route to Japan from Washington where he met with Nixon, Secretary of State William Rogers and Secretary of Defense Melvin Laird.

Among those on hand to greet him at the airport were Akira Yoshoka, Japanese consul general; Adm. John S. McCain, commander-in-chief, Pacific; James Nishi, president of the United Japanese Society; George Fukunaga, president of the Honolulu Japanese Chamber of Commerce, and Masayuki Adachi, executive vice president of the Japanese chamber.

"I was very much impressed by President Nixon's wide knowledge of Japan," Aichi said through an interpreter. "The President told me he has been to Japan six times."

He said his talks with Nixon were designed to lay the groundwork for discussions Nixon will have later with Japanese Prime Minister Eisaku Sato.

"I never expected at the outset of my meetings with Mr. Nixon that we would reach accord on the possible return of Okinawa to Japan," Aichi said.

Aichi was asked whether Japan would be willing to leave American bases on Okinawa after the island reverts to Japanese rule.

"The question of the bases is a complicated one," he said. "But in view of the friendship between Japan and the United States, I envision no difficulty with respect to the bases."

Japanese left-wing students staged a demonstration at Tokyo International Airport on the day Aichi left Japan for Washington.

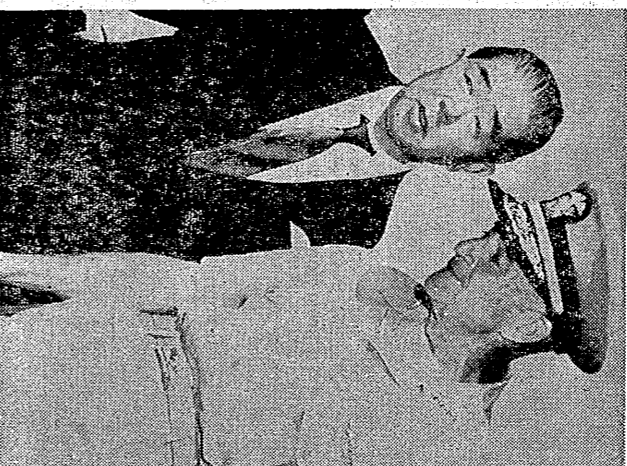
"I'm not aware of the specific circumstances under which the incident took place," he said. "Therefore I am not fully informed about the matter, but I think it was most unfortunate. Both Secretary Laird and Secretary Rogers expressed regret to me over the incident."

He said some observers believe the student demonstrations in Japan will increase when the 1970 security treaty between Japan and the United States is reviewed.

"The present policy in Japan is to continue the present security arrangements with the United States."

Speaking of the student unrest in Japan, he said: "Japanese students are opposed to the establishment. The same thing is happening in other countries."

Aichi said the press coverage of his Washington visit has done much to inform the American people about Okinawa.



Advertiser photo by Leina Cheong
McCain greets Aichi at airport here.

HONOLULU ADVERTISER

JUN 7 1969

愛知外相寄港談



随一の日本通

沖繩基地問題の解決も確信

沖繩復歸、安部外相は九月に豫定されている佐首相訪米會談の下地を...

愛知外相は、東京から飛行機で、午後八時、東京から飛行機で、午後八時、東京から飛行機で...

接折衝に、この二つの直...

米國人の認識を深めた

アメリカの言論界は、今回のワシントン訪問を...

HAWAII TIMES JUN 7 1969

ニクソン大統領 日本に深い理解 愛知外相帰国の途語る



写真は記者会見する愛知外相（左）とニクソン大統領（右）の握手の場面。愛知外相は「日本は歴史の大統領で私はいないであろう」と語り、日本を知っている大統領だというのが印象に残っている。

沖繩返還、日米安保条約など、成功裡に会談を終えた愛知外相は、帰国の途、昨日午後四時ホノルル空港に到着、当地の軍関係者、日系諸団体代表、総領事、多数の出迎えを受け、知事貴賓室にはいり、約一時間休憩後五時羽田向け飛び立った。

このあわただしい少憩の間を裂いて記者団と会見した同外相は、今度の会談の焦点である沖繩返還などについて次のように語った。先ず七二年返還の目度がついた矢先、沖縄各地、また日本国内での、それを不満とするデモは困る。やはり沖繩の人たちも政府の方針に協力して政府と一体となつて返還の方向に進まなければならぬと思う。安保問題は自動継続ということで日米相方の意見が合意に達した。またニクソン大統領との会談では、大統領が「私はこの一九六〇年代に六回日本を訪れている。だから日

HAWAII HOCHI
JUN 7 1969

特

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

極秘

んしたところ。[REDACTED]、自分の口から出た旨絶対にメ
ンションしないようにと念をおした上で、台中については
そういう事実はなく、新テク飛行場を拡張工事中であり、
米側が希望すればB52の基地として供与することもあり
得るであろうと付言した。(詳細調査中につき判明次第追
電する。)

3. なお、上記/。(イ)未段の会談の際、上記/。(ロ
)の[REDACTED]意見が在華米大使館のコンセンサスと言え
るかと質したのに対し、先方は、「大使館全体のコンセン
サスとまでは言えないが」と言ばをにこした趣で、同館政
治部はともかく駐在武官等の中には一部異なつた意見を持
つものもあるとの印象を受けた由。

-3- (了)

(0730 中口課長に連絡済)